

定例記者会見 ワンポイント講座

「火山本部地域講演会 in 鹿児島」 開催のご案内



令和8年1月20日
福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山本部地域講演会 in 鹿児島

火山と共に生きる

～火山研究と防災の最前線～

- ・活動火山対策の強化に資することを目的とした改正活火山法に基づき、令和6年4月1日に文部科学省に「火山調査研究推進本部(火山本部)」が設置
- ・火山本部では、政府の司令塔として、火山に関する観測・測量・調査研究を推進するとともに、その成果を広く一般に周知し、防災対策に活用いただくために、全国各地で地域講演会を開催
- ・今年度の地域講演会は、県内に11の活火山を有し、日本を代表する優れた火山観測・研究などの取組が行われている鹿児島県で開催

■開催日時：令和8年2月1日（日曜日）13時30分～16時35分

■会場：鹿児島市中央公民館ホール（鹿児島県鹿児島市山下町5-9）
(オンライン配信あり)

■主催・後援：

主催：火山調査研究推進本部、鹿児島地方気象台
後援：鹿児島県、鹿児島市、気象友の会

■対象・参加費：どなたでも参加できます（事前登録制） 参加費無料

■定員：先着300名（会場参加）

プログラム

13:30 主催者代表（文部科学省）挨拶

13:35 開催地（鹿児島市）挨拶

13:40 火山調査研究推進本部の取組

長谷部 大輔（はせべ だいすけ）

文部科学省 火山調査管理官

13:55 気象庁における火山監視と防災情報

前田 緑朗（まえだ ろくろう）

鹿児島地方気象台 台長

14:10 火山災害の特徴と桜島の大規模火山噴火

中道 治久（なかみち はるひさ）

火山調査研究推進本部 政策委員会 専門委員・火山調査委員会 専門委員
京都大学防災研究所附属火山防災研究センター センター長・教授



火山災害は他の自然災害と異なる特徴があります。まず、災害発生までの前駆時間と、災害発生の継続時間が長いです。そして、災害を引き起こす現象が多岐に渡ること、そして同時に発生する場合や、噴火が終わっても発生する現象があります。桜島では過去に大規模火山噴火が発生してきており、最後の大規模火山噴火から112年経過した今、再び大規模火山噴火の発生が懸念されています。

14:40 身近な火山で生きる力を養う

姥 千恵子（うば ちえこ）

桜島ジオサルク 事務局長（※桜島・錦江湾ジオパークで活動するガイド団体）



火山は、日常のあらゆるところでつながりを持ち、その風景や恵みは私たちの心身を支える存在であるだけでなく、火山を知り学べば、生きる知恵や力を養い自然災害から命を守ることにつながります。桜島を鹿児島のシンボルとして暮らす私たちは、魅力的な火山が身近にあることを様々な見方で実感し、生きる力を火山から得て暮らし続けたいものですね。

15:10 休憩（10分）

15:20 トカラ列島近海の火山フロント近傍で
発生した群発地震活動

八木原 寛（やぎわら ひろし）

鹿児島大学 理工学域 理学系 准教授



2025年にトカラ列島近海で活動した群発地震に属する大部分の震央は、悪石島一カッパ曾根（海丘）一小宝島間の糸ね線状に分布し、火山フロントに近いです。火山活動の関与が示唆されるカッパ曾根、小宝島周辺で認められる活発な地熱活動に近接することから、当該地域の浅海における噴火発生のポテンシャルとリスクについて考えます。

15:50 来るべき桜島大規模噴火対応のための
研究戦略

井口 正人（いぐち まさと）

火山調査研究推進本部 火山調査委員会 委員

鹿児島市危機管理局危機管理課 火山防災専門官・桜島火山防災研究所長
京都大学 名誉教授



今後発生が予測される大正噴火級の大規模噴火が切迫すれば、桜島島内はもちろんのこと、島外においても噴火発生前の事前避難が必要となります。噴火ハザードの要因とその深刻度によって災害の起り方や規模が違います。火山観測データを活動評価に使うだけでなく、噴火の影響範囲とその深刻度の予測に用いる必要があります。

16:20 質疑応答（進行次第で省略の可能性あり）

16:30 閉会挨拶

展示コーナー

会場内には、火山調査研究推進本部、気象台、鹿児島県、鹿児島市の取り組みを見て・知って・学べるパネルや動画、また桜島噴火時の岩石などを展示しています。ぜひ、会場までお越しください。



プログラム・講演内容は変更となる場合があります。

取材や参加を希望される方は、
下記サイトから事前登録をお願いします。

1月28日〆切！

■ 地域講演会特設サイト

https://www.mext.go.jp/a_menu/kaihatu/jishin/mext_00204.html



チラシなどより詳細な情報も掲載しています。

**火山本部地域講演会 in 鹿児島
火山と共に生きる**
～火山研究と防災の最前線～

日時 2026年2月1日(日) 13:30~16:35
会場 鹿児島市中央公民館(ホール)
オンライン受付あり

鹿児島県には、桜島、霧島などの活火山がありますが、これらの活火山を対象に、日本を代表する優れた火山研究・研究などの取組が鹿児島で行われているのですご存知でしょうか。こうした取組に携わる火山の専門家の方々には、政府の火山調査研究推進本部(火山本部)でも、国の方針を定めるための検討や、全国の活火山を対象に行う火山活動の評価など、多大な貢献をいただいているです。

本講演会は、こうした鹿児島県内での火山研究・火山防災に携わる専門家、関係機関の担当者や、火山本部の事務局を務める文部科学省の担当者が、最新の研究や防災の取組について解説します。火山本部の取組を知りたいなどともに、火山への学びを深める機会として、ぜひご参加ください。

参加費無料
どなたでもお越しください
定員：先着300名
事前登録必須

地域講演会特設サイト

事前登録はこち
る
2026年1月28日(木)

主催：火山調査研究推進本部(事務局：文部科学省)、鹿児島地方気象台 後援：鹿児島県、鹿児島市、気象友の会

文部科学省
鹿児島地方気象台
鹿児島県
マグマシティ
鹿児島市

**火山本部地域講演会 in 鹿児島
火山と共に生きる**
～火山研究と防災の最前線～

2026年2月1日(日) 13:30~16:35

長谷部 大輔(はせべ だいすけ)
文部科学省 火山調査研究推進本部

13:30 主催者代表(文部科学省)挨拶

13:35 開催地(鹿児島市)挨拶

13:40 火山調査研究推進本部の取組
長谷部 大輔(はせべ だいすけ)
文部科学省 火山調査研究推進本部

13:55 気象庁における火山監視と防災情報
前田 緑(まへだ みどり)
鹿児島市消防防災課

14:10 火山災害の特徴と桜島の大規模火山噴火
中道 治久(なかみち ひさき)
火山防災研究推進本部 火山調査委員会 常門真喜・大浦吉彦委員会 常門真喜・大浦吉彦
鹿児島市消防防災課

14:40 身近な火山で生きる力を養う
坂下恵子(さかした えいこ)
鹿児島シーサイド

15:00 休憩(10分)

15:20 ハラカラ列島沖の火山front近傍で
発生した群発地震活動
八木木 寛(やぎの ひろし)
鹿児島大学 地学系 地震系 地震学
文部科学省 火山調査研究推進本部

15:50 未来るべき桜島大規模噴火対応のための
研究戦略
井口 正一(いのくち まさと)
火山防災研究推進本部 火山防災委員会 常門真喜・大浦吉彦委員会 常門真喜・大浦吉彦
鹿児島市消防防災課

16:20 質疑応答(事前登録で参加の可能性あり)

16:30 閉会挨拶

●プログラム・講演内容は変更となる場合があります。

会場
鹿児島市中央公民館(ホール)
鹿児島市中央公民館下り5.9
事前登録はこち
る
2026年1月28日(木)

主催：火山調査研究推進本部(事務局：文部科学省)、鹿児島地方気象台 後援：鹿児島県、鹿児島市、気象友の会

文部科学省
鹿児島地方気象台
鹿児島県
マグマシティ
鹿児島市

8月26日は火山防災の日



気象庁火山防災
マスコットキャラクター
ぼるけん

気象庁
マスコットキャラクター
はれるん